

市議会だより



直江兼続シリーズ⑤

直江城州公鉄砲鍛造遺跡の碑

直江城州公とは上杉景勝の第一の重臣である直江山城守兼続のことで、石碑は、兼続がここ白布高湯で火縄銃を製造させたことを記念し、昭和45年に建てられたものです。

慶長9(1604)年、兼続は江州国友村ごうしゅうくにともむら(滋賀県長浜市)から鉄砲師の吉川惣兵衛、泉州堺(大阪府堺市)から泉谷松右衛門を呼び寄せ、人里離れた白布高湯を鍛冶工場とし火縄銃を製造させました。その数は1000挺、筒の種類は10匁筒(玉の重さが10匁、1匁は3.75グラム)・15匁筒・20匁筒・30匁筒とされています。

白布に鍛冶工場を置いたのは、人目を避け密かに製造するためと、火薬の原料の硫黄、鍛冶に必要な大量の炭の供給を考えたものと思われます。

平成20年6月定例会

	ページ
◆ 6月定例会の総括	2
◆ 一般質問	3
◆ 常任委員会の審査から	10
◆ 予算特別委員会の審査から	11
◆ 請願・スポット・あとがき	12

16議案 原案どおり可決



平成20年6月定例会は、11日から26日までの16日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、全国市議会議長会から、議員在職25年以上として特別表彰を受けた1名の議員の表彰状の伝達が行われました。その後、報告案件5件を了承し、承認案件1件を承認、人権擁護委員候補者の推薦に同意した後、議案9件及び請願4件を各委員会にそれぞれ付託し、さらに山形県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙を行いました。

13日、16日、17日には、12名の議員による一般質問が行われ、18日には総務文教常任委員会、19日には民生常任委員会、20日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

23日には、予算特別委員会を開き、補正予算3件について、審査を行いました。

最終日の26日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案9件についてはすべて原案のとおり可決し、請願4件については、3件が採択、1件が不採択とされました。また、意見書の提出に係る発議3件が可決されました。さらに、米沢市農業委員会委員に4名の方を推薦し、最後に、議員派遣について可決し、6月定例会を閉会しました。

一般質問

「市政のここが聞きたい」

6月定例会では12名の議員が質問を行いました。ここでは、1時間の持ち時間から主なものを取り上げております。詳しくは9月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

氏名のひらがな表記・ふりがなは、各議員の希望でいれています。



土地代6億3千万円と
その利子経費6億9千万円の解決は

鳥海 隆太 議員
とりうみ りゅうた

総合公園の未計画土地について当時の金融機関より6億3千万円という莫大な借金をして保有し、現在まで更地の状態であり、金融機関の借入れに対する利子は約4億6千万円、経費は2億3千万円にのぼり他含め総額13億3千6百万円の大変な負担になっている。この問題をどのように解消するのか。

〔企画調整部長〕 第2期実施

計画では、サッカー場整備について建設に向けた検討を行います。本市のサッカー場がどこにあるべきか、また何年後に建設事業に着手できるかも含めて検討します。そこで総合公園内に整備すべきとの方向性があれば、拡張用地の買い戻しを計画的に進めることが出来ると考えています。目的たる用途を明確にしなから買い戻しをするという手続が必要となり、そのような考え方で進めていきます。

〔総務部長〕 土地公社単独では判断できませんので、行政

側も総合公園をどうやったら買い戻すことができるかを検討してまいります。

低炭素社会構築のための省エネや省資源化対策の重要性を市長はどのようにとらえて、CO₂削減や温暖化防止を実施していきたいのか。

〔市長〕 低炭素社会を実現することは大変重要であると認識していますが、本市がどのように取り組むかは具体的に定めていません。今後は米沢市地球温暖化対策地域協議会等で方策を検討していただき、それを実践してまいります。

マイバッグ運動の推進は行政の仕事としては非常にいいと考えるが、レジ袋5円の有料化を促進するのは、行政で考える問題ではないし、カーボンオフセットの考え方と逆行しているのではないのか。

〔市民環境部長〕 レジ袋有料

化によってマイバッグ持参を促進させ、レジ袋という石油製品をなくするのが趣旨ですのでご理解いただきたい。



松川コミセン建設のついで
東吾妻温泉郷の整備強化についで

工藤 正雄 議員
くどう まさお

平成21・22年度に建設されることになった松川コミュニティセンターについて、本市ではどのように検討しているのか。

〔教育長〕 コミュニティセン

ターは、幅広い年齢層の方々にご利用する地域づくりの拠点施設として考えています。そのため、他地区のコミュニティセンターと同程度の施設とする方向で検討していきま

すが、具体的な内容については目下のところ未定で、地元

の建設期成同盟会の方々と協議を重ねてまいります。建設予定地は、市としての案も含めて具体的な検討を行

っている段階で、財政事情を考慮しながら選定してまいります。

なっているのか。

〔市長〕 「米沢八湯」は、本市の重要な観光資源の一つとして位置づけて温泉観光の振興に取り組んでいます。五色・滑川・姥湯温泉は、山岳観光の拠点として案内看板、登山道の整備を実施しています。また道路整備や崖崩れ防止対策も重要と認識し、引き続き国、県に働きかけていきます。

〔産業部長〕 五色・滑川・姥

湯温泉は、一湯一旅館ですが、相互のネットワークを図りながらエリア内のインフラ整備の検討に入りたいと思います。





憲法25条の
「健康で文化的な生活をどう保障するか」

我妻 徳雄 議員
とくお

一生懸命働いても生活保護水準以下の収入しかない、いわゆるワーキングプアは600万世帯、1000万人を超えた。非正規社員は1731万人と労働者の33%に達している。また、年金制度、医療制度そのものの崩壊、リハビリの日数制限、後期高齢者医療制度など、社会保障の後退は枚挙にいとまがない。現代社会は憲法第25条が謳う「健康で文化的な最低限度の生活」が保障されているとはいえない。市長は、現代の格差社会をどのように考えているか。また、命にかかわるセーフティネットは、どうしても維持していかなければならない。行政として、憲法第25条の精神をどう活かしていくか。

【市長】ワーキングプアは、高度成長から低成長への変化やバブル崩壊による長期不況、金融不安に対応する社会経済の構造改革などを背景として打ち出された給与等の抑制の

一環として生み出されたものといえます。普通に働いても生活が成り立たないのは、社会構造上に大きな問題があるものといわなければなりません。多くの国民の生活にかかわる大きな問題であり、経済界、政府においては、政策の根幹をなす社会観について軌道修正をすべき時期に来ているものと考えます。

市政をおあずかりする立場としては、市民の生活、市民の幸福追求を最大の課題ととらえております。具体的には、生活で困窮する人々に対し最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を図る生活保護行政、さまざまな障がい者有する人々が自立と社会復帰などを図るための福祉行政、高齢者福祉行政、児童福祉行政などについて、憲法第25条の精神を市政執行の上で尊重していきたいと考えております。



人口減の対策と保育行政、
指定管理者制度について

小久保広信 議員
こくほ

市長が昨年6月に答弁した人口減に対する検討組織の立ち上げはどのようになっているか。また、現在どのような検討が行われているか。

【市長】市役所内の検討組織づくりについては、現時点ではまだ立ち上げに至っておりません。人口問題に対応するために、市内の産業や雇用の状況、子育て支援、人口動態の現状などについて客観的な統計資料等を持ち寄りながら共通の認識をつくる必要があります。今後、関係する部署で勉強する場を持ちたいと考えています。

【健康福祉部長】現在、国で保育の直接契約や保育所の入

所基準の見直しなどが検討されており、障がい児保育や保育の自由化が行われた場合の保育に欠ける要件の対応、子育てや発育に関する情報の提供、定数割れの対応など今後の保育制度の動向を見ながら、その役割について、委員会の設置やパブリックコメントなどにより広く市民の方々の意見をお聞きしながら検討してまいります。

指定管理者制度において、福祉行政や労働行政の視点を評価に入れている自治体があるが、本市としては取り入れる考えはあるか。

【企画調整部長】そのような精神は必要なことであるとの認識は変わりありませんが、あえて特記して別記することにより、どのように評価をしていくかといったその評価の仕方が現状では難しいという認識です。先進地の調査をさせていたいただきたいと思っております。

6月定例会で
次のことが
決まりました

- 平成19年度米沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 平成19年度米沢市下水道事業費特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 米沢市土地開発公社の平成19年度経営状況及び平成20年度事業計画の報告について
- 財団法人米沢上杉文化振興財団の平成19年度経営状況及び平成20年度事業計画の報告について
- 専決処分事件の報告について
- 専決処分事件の承認を求めることについて
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 米沢市土地開発公社定款の一部変更について
- 置賜広域行政事務組合規約の一部変更について
- 米沢市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について
- 米沢市国民健康保険条例の一部改正について



米沢発、世界初
「有機EL照明パネル量産会社」の可能性

相田 克平 議員

有機エレクトロニクスバレー構想の第1段階の成果として、照明用有機ELパネルの新会社が来春操業を始めるが、工業出荷高の見込みは。

【産業部長】計画では、量産立上げから3年以内に約1千億円の売り上げを目標にしている」と承知しております。

有機エレクトロニクス研究所への支援態勢や第2段階以降の予算はどうなっているか。

【市長】今後も本市としてはもちろんですが、より一層県の支援を働きかけていきたいと考えており、知事との面会の日程を調整中です。

地元企業が周辺機器を生産することで、工業出荷高が3千億円近い伸びをしめす可能性がある。連携体制作りを積極的に進めるべきでないか。

【産業部長】本市の重層的産業構造とマッチングを図り、本市産業の核として新時代の産業革命の様な位置付けになる事が大切と考えています。

新中心市街地活性化法によ



置賜広域合併について

鈴木あきお 議員

基本計画策定遅れの原因は。【企画調整部長】厳しい財政状況のもとで、決め手となる中核事業が見出せずに停滞している状況にあります。

中心市街地や有機EL産業などについても、エコノミックスガーデンニングの観点で、地元産業を「育てる」政策が必要だと思いがどうか。

【市長】オフィス・アルカディアにも地元「伸びる芽」の企業に進出して頂いています。商店街についても「伸びる芽」を伸ばしていく行政努力が必要と考えています。

職員が積極的に現場に足を運ぶ行政であるべきである。市民の生の声から足元をきちんと知ることが大切だが、スピード感を持った市政運営を

【市長】スピードは大事ですが、スピードを上げていかなくはなりません。現場に足を運ぶことは重要なことですので、やっていきたいと思っています。

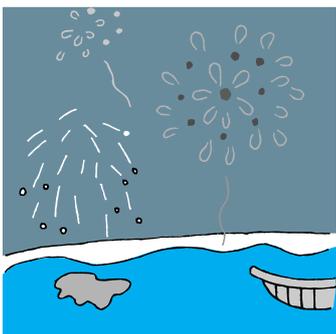
合併特例法の期限が切れ、新特例法の期限にも間に合わない状況にあるが、市長は選挙公約の中で、自主自立の立場から合併推進の立場に180度転換された。合併の道を進むのか、単独自立の道を決断するのかを決めることは、自治体にとって最優先課題であり、最も重要な選択である。自主自立の路線から合併推進の立場に変わった理由は何か。

【市長】三位一体の改革により厳しさを増していく財政状況下で、行財政改革に取り組むことが重要と判断し自立の道を当初目指しました。しかし、現在の自治体独自の行財政改革だけでは到達し得ない、もっと強力な受け皿としての自治体形成を目指すべきだという認識により、置賜3市5町が合併した場合、人口が20万人を超える特例市として権限が拡大し、住民に身近なサービスや地域課題の解決が基礎自治体の判断で、よりできやすくなることから、置賜

合併特例法の期限が切れ、新特例法の期限にも間に合わない状況にあるが、市長は選挙公約の中で、自主自立の立場から合併推進の立場に180度転換された。合併の道を進むのか、単独自立の道を決断するのかを決めることは、自治体にとって最優先課題であり、最も重要な選択である。自主自立の路線から合併推進の立場に変わった理由は何か。

【市長】置賜が一つになることが理想であるとの信念で取り組んできたので、これが成り立たなかったからといって、すぐ別の枠組みの旗振り役、リーダーシップという方向に走るべきではありません。置賜全体の利益として呼びかけてきた役者が、今度は別の小さな割った組み合わせの旗振りをする事自体が置賜全体の住民の方々に對して不信感と呼ぶものと思っています。

【市長】置賜が一つになることが理想であるとの信念で取り組んできたので、これが成り立たなかったからといって、すぐ別の枠組みの旗振り役、リーダーシップという方向に走るべきではありません。置賜全体の利益として呼びかけてきた役者が、今度は別の小さな割った組み合わせの旗振りをする事自体が置賜全体の住民の方々に對して不信感と呼ぶものと思っています。市長には責任ある決断と行動で置賜をリードする首長になっていただきたいと強く要望する。



- 米沢市公共下水道事業米沢浄水管理センター建設工事委託に関する基本協定の締結について
 - 市道路線の認定について
 - 平成20年度米沢市一般会計補正予算（第1号）
 - 平成20年度米沢市老人保健医療費特別会計補正予算（第2号）
 - 平成20年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
- 以上の議案は、すべて原案どおり承認、同意、議決しました。



消防の広域化は
住民サービスの向上につながるのか

しらねざわすみこ
白根澤澄子 議員

消防組織法の改正により市町村消防の広域化が推進されている。平成20年3月策定された山形県の消防広域化推進計画では、置賜地域をひとつの消防本部に再編する計画になっている。広域化の目的は住民サービスの向上と消防力の基盤強化としているが、広域化のねらいは広域化によって消防本部の数を減らし消防無線のデジタル化や大規模災害等への対処をできるだけ安上がりにしよとすることにあり、消防の広域化には問題や課題もあるのではないか。

〔市民環境部長〕 ①広域連合の構成員である本市独自の保険料軽減策は考えていません。②広域連合の基準が出た時点でそれに従います。

〔健康福祉部長〕 ③健診対象外の被保険者が健診を希望する場合は、当分の間、申し出により健診受診が可能になりました。

市の多重債務者の相談体制を、弁護士など法律の専門家との面談予約まで踏み込んで支援するなど充実できないか。

〔市長〕 1市町消防本部と1消防団の連携であったものが、複数市町消防団との連携になることや、消防本部内の人事及び組織管理など、問題点は多くあるものと考えております。今後、広域化対象市町の動向を見据え検討してまいります。

後期高齢者医療制度に批判が高まっている。市として、

〔市長〕 米沢市消費生活センターでは、平成20年度より相談員を1名から2名に増員し、5月1日から相談時間を1日8時間30分に延長しました。多重債務については、法律の専門家への引継ぎなど5項目を検討し、支援体制の確立に向けて調整を図っているとこ



大型企業誘致の受け皿は出来ているのか

佐藤 忠次 議員

経済産業省の東北経済産業局が推進役になって、いま産業集積の形が東北、新潟県地方に生まれつつあり、県内では、山形、米沢地域が重点地域として指定されている。企業立地動向調査によると、山形県への企業立地件数は、昨年35件、東北では福島県41件に次いで2番目となっている。

〔健康福祉部長〕 本市には特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、グループホーム、特定施設入所者生活介護、有料老人ホーム、これらの施設を合わせると定員が1125名となります。

〔産業部長〕 八幡原中核工業団地には先端産業を中心とした57社が進出し、そのうち54社が操業していますが、未分譲区画が11区画、さらに南工業団地やオフィス・アルカディアA団地にも未分譲区画があることから、まずは、未分譲区画を分譲していくことが第一義と考えています。そのため、本市としましては、新

たな団地造成は考えていないところですが、いま、本市では特別養護老人ホームへの入所待機者が170名、南陽市、高畠町、川西町の待機者は246名で、2市2町合わせて416名となる。近隣市町も含めた新施設をつくるべきかと思がどうか。

〔市長〕 本市の財政状況や平成26年度までの国の施設整備基準において目標値を上回ることもからも介護老人福祉施設を新設することは現在、見込んでいません。

表彰

全国市議会議長会から、次の方が表彰されました。

●特別表彰

(議員在職25年以上)

山村 明 議員





東部ひかり保育園は
「民営化」すべきでないがどうか

高橋 壽 議員

東部ひかり保育園を廃止し、民間で開設する（「民営化」）計画だが、公立保育園・自治体職員の保育士と民間の保育園・保育士との役割の違いは何か。このことを明らかにしないで民営化すべきでないと考えられるがどうか。また、公立保育園の今後のあり方について基本的な方針というものはあるのか。

論をしていきたいと考えているところです。

公立保育園と民間立保育園の役割は違う。公立保育園の役割は、米沢市全体の修学前子どもたちの子育てに責任を持つということ。また、公立の保育士は自治体職員として市全体の保育状況に責任を持つという立場にいるということ。民間立の保育園と保育士は市全体の子育てに責任を持つものではない。公立保育園の保育士の声を保育計画に反映すべきで、公立保育園のあり方を今年1年検討し、その上で東部ひかり保育園をどうするか判断すべきものかどうか。

保育政策については、十分に保育士の意見を聞きながら策定していきたい。ただし、東部ひかり保育園については、交通事情などの問題がありますので、現在の方針を進めていきたいと考えています。

また、現在、公立保育園のあり方についてまとめた基本方針等は策定されていないところ。ただし、公立3園のうち残る2園のあり方につきましては、来年度予定されている米沢市次世代育成支援計画後期地域行動計画の策定に向けたニーズ調査の結果などを踏まえ、公立保育園のみならず、民間立保育園を含めた本市全体の保育園のありかたの検討を通して多角的に議

論をしていきたいと考えているところです。



住宅用防災警報器の設置、
後期高齢者医療制度について

佐藤ひろし 議員

消防法改正による住宅用防災警報器の設置状況及び普及について今後の取り組みは。

〔消防長〕平成18年から新築住宅については建築確認申請時に必ずチェックし設置されています。しかし既存住宅に関しては把握できていない状況です。

期高齢者医療制度。4月より運用なった米沢市の実態から3点について確認する。①保険料負担の増減は、②滞納すると資格証明書を交付（保険証取り上げ）するのか、③担当窓口の混雑、混乱は。

現在までの啓蒙活動としては、広報よねざわに「住宅用警報器の設置義務化」について掲載しました。また、のぼりを購入し火災予防運動期間に掲げてきました。さらに婦人防火指導員連合会が年2回街頭広報を展開したほか、米沢市のHPにおいても掲載しています。加えて、避難訓練、救急講習会などでPRする他、展示用パネルを作成展示するなどして警報器設置の普及に努めたいと考えています。

〔市長〕①負担額の増減について本市の試算では12種類のモデル世帯すべてで減額になることが確認されました。

〔市民環境部長〕②広域連合が各市町村から意見書の提出を求めた上で判断することになります。各納税者の実情に基づき判断し、滞納により機械的に資格証明書を交付することはしないものと思われま

す。③制度、手続き、特別徴収のことなどの窓口対応件数は、4月が380件ですが、5月は13件と落ち着いた感があります。今後とも制度内容の周知や説明については、出前講座のご要望もありますので積極的に励んでまいります。

なお、お年寄りを狙う悪徳商法の被害防止の観点から、テレビ放送を利用した広報活動も予定しています。

いまだ偏見や誤解の多い後

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だよりなどを紹介しています。アドレスは次のとおりですのでぜひご覧ください。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 22-5111（内線 5623）

市議会の番組放映について

市議会本会議の様子は、NCV（アナログ放送は22チャンネル・地上デジタル放送は092チャンネル）にて放映しておりますので、是非ご覧ください。



ふるさと納税、観光振興、
完全米飯給食について市政を質す

しづまかすみ
洪間佳寿美 議員

3月議会予算委員会でするさと納税」の検討をすべきとしたが、今もってなされてない。いつまでどのような受け皿づくりをしていくのか。市民の協力的体制づくりは。

〔市長〕現在①寄付の手続き②寄付金の使途の選択と基金の設置③寄付者への御礼と今後の対策を検討しており、7月中旬を目途にHPへの掲載などで全国発信していきます。広く市民の方のご協力をいただきましたと考えております。さまざまな観光振興の課題がある中でホスピタリティ（おもてなしの心）を醸成する具体策、駐車場の問題を課題として取り上げる。解決策として仮称市民協力駐車場を提案したい。これは駐車場オーナーが日時・スペースを指定して、観光客が駐車場を利用できるというのだが、当局としてはどう考えるか。

〔産業部長〕市民と観光客との会話の中から生まれる交流も主眼とした取り組みは、駐



中学校給食と部活動送迎について

えびな しげる
海老名 悟 議員

本年4月からスタートした中学校給食について、21年度実施予算の一般財源が教育振興費減額によるものでは。

〔教育長〕確かに19年度予算に比べ2900万円の減となっておりますが、これは教育用パソコンの更新が前年比半分で済むことによるものです。22年度以後に大規模校においても実施されるが、その財源見通しは。

〔教育総務課長〕21年度につきましては、総額2億7200万円のうち工事費1億4500万円については給食施設整備事業債の充当が考えられ、22年度総額9700万円のうち工事費500万円についても同様です。

〔教育指導部長〕親子給食の運営、施設・設備に係る経費、配送・配膳業務の説明、調理・学校それぞれの現場からの報告を踏まえて今後の運営につ

いて協議いただいております。既に5月と6月に開催しておりますが、再度開催を予定しております。

〔教育指導部長〕厳寒期の検証と現場の教職員への負担になる集金業務についての検証は。

〔教育指導部長〕厳寒期における現場の確認は必要だという認識を持っております。集金に関しては、教育的配慮が必要であると同時に業者への支払いも必要であり、教育委員会としても打開策を研究しているところであります。

〔総務部長〕既に休日の稼働率が3割ほどあり、4名の運転手で稼働させることからも部活への利用は相当難しいという認識を持っております。

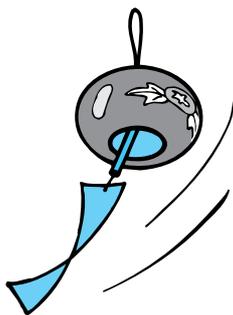
〔教育指導部長〕部活動は学校教育の一環として新学習指導要綱にも明示されますが、その取り組み方については点検が必要と考えております。

9月定例会日程
(予定)のお知らせ

- 5日 開会（本会議）
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 決算特別委員会
- 16日 決算特別委員会
- 17日 決算特別委員会
- 18日 決算特別委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 22日 民生常任委員会
- 24日 産業建設常任委員会
- 25日 予算特別委員会
- 30日 最終日（本会議）

請願の提出期限は8月29日午後5時の予定です。

日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議事事務局（22-5111内線5623）までお問い合わせください。



常任委員会の審査から

6月18日から20日に開催した常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼J R不採用問題の早期解決を求める意見書提出方請願について

本請願は、国鉄が分割民営化され、J R各社が発足してから21年が経過しましたが、その過程で発生した職員の不採用問題が未解決のまま長期化しており、当時の職員も高齢化していることから、人道的見地に立つて速やかに現実的な問題解決を図ることが必要であるとする意見書を政府関係機関に提出していただきたいというものです。

【委員】再就職する際の基準や解雇に至る経緯は。

【紹介議員】J R各社への採用を拒否され、再就職先が未定のまま残った者が最終的に1047名ですが、そのうち、本州における不採用者は55名で、不採用とする基準として

は、停職2回以上または停職6ヶ月以上に該当するものなど、明確な基準がありました。九州・北海道については、明確な基準もなく、かつ、国鉄労働組合に所属する組合員は半数が不採用となるなど明確な差別があったものと認識しています。

◎採決にあたって

【委員】不採用問題については、当事者間において調整等が十分に図られるべきもので、市議会として積極的に意見書を提出することについてはなじまないと考え、請願の採択に反対します。

【委員】不採用問題は、国策による分割民営化施策により発生した事案で、分割民営化にあたっては、当時の中曽根総理大臣が一人も路頭に迷わせないとする国会答弁や附帯決議がなされたことを踏まえれば、国が責任をもって対処すべきもので、政治的な和解解決をはかる必要があります。また、この問題が21年と長期

化し、当事者が高齢化している事情等を考慮すれば、人道的な観点からも早期解決を図るべきであり請願の採択に賛成します。

産業建設

▼米沢市公共下水道事業米沢浄水管理センター建設工事委託に関する基本協定の締結について

本案は、沈砂池施設・水処理施設・汚泥濃縮施設の増設工事及び汚泥脱水施設の改築工事を行うため、日本下水道事業団と、工期を平成23年3月25日まで、協定金額を19億2220万円とする基本協定を締結しようとするものです。

【委員】今回の増設工事により、処理能力はどれくらいになるのか。

【下水道課長】水処理能力は、1日当たり2万5250トン、処理可能人口は約4万9000人となり、平成27年度までは対応できるものと試算しています。

【委員】下水道整備が完了するまでに要する今後の整備費

用はいくらか。

【建設部長】周辺集落など将来構想区域も含めた全体計画では、今後約360億円かかると想定していますが、周辺集落の汚水管の整備については、今後、見直しを検討して行く考えです。



水処理施設増設工事予定地（写真左側用地）

▼国営土地改良事業の存続に関する意見書の提出を求める請願について

本請願は、農業生産の基礎となる基幹的な農業水利施設の管理及び整備については、国直轄の事業として引き続き国が責任を持って実施するよ

う政府関係機関に意見書を出していただきたいとするものです。

【委員】水窪ダムの将来的な水の需要についてはどうか。

【紹介議員】地球温暖化の影響もあって自然水が確保しにくい状態にあり、610万トン程の農業用水が不足しています。このため平成18年度に国営かんがい排水事業米沢平野二期地区が着工されましたが、その中で、工業用水・水道水の需要は、従来の計画と同じ水量と想定されています。



国営かんがい排水事業の一環として改修、掘り込みが行われる水窪ダム

予算特別委員会

6月23日に開かれた予算特別委員会では、一般会計補正予算をはじめ3議案を審査しました。

その中から質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕平和都市宣言が今年で20周年を迎えるが、それを記念した事業の実施予定について伺いたい。また、宣言名称を非核平和都市宣言に改めようか。

〔総務課長〕特に平和都市宣言20周年事業としては計画しておりませんでした。昨年寄付をいただいた100万円の使途について、昨年中学生議会を開催し、そこで意見集約された内容を本年度の事業として実施するよう準備を進めているところであります。例年の事業とは違い、節目の年に相応しい内容になるものと思っております。

〔市長〕反核、核兵器廃絶は強く主張していかなくてはな



中学生議会で決定された「平和の黄色いひまわり運動」を展開

らないと思っておりますので、宣言名称を改めることについては議会にご相談したいと思います。

〔委員〕地域包括支援センター業務委託料が1600万円の減額補正となっているが、委託事業所が当初計画の4箇所から3箇所となることについてどう考えているか。

〔高齢福祉課長〕地域包括支援センター業務の委託事業所は4箇所必要だと思っておりますが、地域密着型として予定していた事業所が看護師等有資格者の人員体制で、応募資格要件を満たすことができなくなったことから3箇所となりました。

今後とも、4箇所設置に向けて種々検討を行いながら取り組んでまいりたいと思っております。

〔委員〕高齢化社会に対応するためには老人が安心して介護を受けられる地元の福祉事業所に委託し、是非4箇所を実施していただきたい。

〔委員〕松川河川敷緑地の芝生整備の事業内容を教えてもらいたい。

〔都市計画課長〕平成18年9月にサッカー場とソフトボ

ル場の間の敷地において、既存の沿路、花壇を取り外し、山砂で埋め戻し、多目的に使えるようなグラウンドに整備を行っております。その際、土の表面に芝の種子を散布し、生え揃ってきたことから、本年4月から供用したところであり、その事業費については530万2500円であります。

小中学校の食育について

〔委員〕県委託事業の「子どもの健康を育む総合食育推進事業」で、南部小学校に栄養教諭を配置ということだが、他の学校については食育に関してどのようにしていくか。

〔教育指導部長〕「子どもの健康を育む総合食育推進事業」は、具体的な実践、取り組みを南部小学校の栄養教諭を中心に、それらの内容につきましてには市内の全小中学校に波及をさせていくというところであります。例えば南部小学校で作成された食育だよりを、市内のすべての小中学校に配布して、南部小学校だけのものとしなくて、市内全部の学校で取り組んでいただ

くとか、食育についての講演会をPTA及び教職員を対象として開催するなど、市内すべての小中学校と共に進めていきたいと思っております。

〔委員〕米飯給食において使用している米沢産1等米と使用基準である山形県産2等米との差額を本市で補助している理由は何か。またその等級の違いは何か。

〔農林課長〕地元米沢産の米のうまさ子どもたちから知っていただき、米の消費拡大につなげていきたいということで差額分を農協さんと本市で補助してきたところであります。

また等級の違いは形質、整粒、被害粒等によるものです。



米飯給食(うこぎごはん)

6月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです

採 択

- ◆ JR不採用問題の早期解決を求める意見書提出方請願
(国鉄労働組合山形県支部執行委員長 原田 好太郎)
- ◆ 国営土地改良事業の存続に関する意見書の提出を求める請願について
(米沢平野土地改良区理事長 佐貝 全健)
- ◆ 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書提出方請願
(全国林野関連労働組合東北地方本部置賜森林管理署分会執行委員長 三澤 好忠)

不採択

- ◆ 国に対して地域別最低賃金の大幅引き上げを求める意見書提出方請願
(置賜地域労働組合総連合代表者 渡辺 豊)

意見書

- ◆ JR不採用問題の早期解決を求める意見書
(内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて)
- ◆ 国営土地改良事業の存続に関する意見書
(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、内閣官房長官、総務大臣、農林水産大臣、経済財政政策担当大臣、地方分権改革推進委員会委員長あて)
- ◆ 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書
(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣、林野庁長官あて)

6月定例会最終日に議員提出の意見書3件を原案どおり議決し、直ちに関係機関へ送付しました。

車椅子用の傍聴席を新設しました

スポット



本会議場に昇降機を設置し、6月定例会から車椅子を利用されている方にも傍聴していただくようになりました。

車椅子用の傍聴席は、議員席と傍聴席の間にあり、付き添いの方を除き5名分のスペースがあります。

傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局にご連絡くださるようご協力をお願いします。

傍聴当日は、市役所正面玄関総合案内にお声掛けください。職員が議会棟の車椅子用傍聴席までご案内いたします。

6月11日の招集日には1名の方に、13日の一般質問の日には2名の方に傍聴していただきました。

ご利用をお待ちしております。

あ
と
が
き

この号の出る頃には梅雨も明け盛夏となる筈ですが、異常気象と言われて久しく、さて実際は如何でしょうか。

夏に冷を求め、冬に暖を求めるのは人間の常ですが、出来得るなら物ではなく心で求めたいもの。「九つまで満ち足りていて、十のうち一つだけしか不満が無い時でさえ、人間はまずその不満を真っ先に口から出す。なぜわたしたちは不満を後まわしにし、感謝すべきことを先に言わないのだろう」これは作家の三浦綾子さんの言葉ですが、身体に薬石を求めるが如く心にも薬石を求めたいものです。

さて私達の薬石は市民の皆さんの想いにあります。どうぞこの夏もご健勝で……。

【木村政信】

